

決算特別委員

延べ39人が質疑



決算特別委員会

※紙面の都合上、掲載質問数の上限
※質疑の内容は、各会派からの提出
※質疑・答弁の趣旨を簡潔にまとめ

市政改革ネットワーク

指定管理者制度の財務安定性

問 財務諸表の点検件数が少ないなど、財務安定性の点検が不十分だが、なぜか。

答 財務諸表の統一的な点検方法を定めておらず、財務安全性についての認識の甘さがあったと考えている。
企業会計のバランスシート

問 病院事業の160億円もの多額の預貯金の資産運用は？

答 平成25年度から償還期限2年の国債で約65.5億円、定期預金で約44.2億円を長期資金運用している。

ぼい捨て防止事業の人員費は？

問 事業内容と報酬は適正なのか。年収450万円は高いのではないか。

答 条例を実効あるものとしていくためには、引き続きぼい捨て防止指導員による啓発や過料徴収を継続することが必要と考えている。
ゴミの転送業務は必要なのか？

問 転送ではなく直送することで、コスト削減ができたのではないか。

答 建設中のゴミ焼却施設の性能や安全性を確認するため、直送では足りない試験焼却用のゴミを転送する必要があった。

都市計画総務費の翌年度繰越

問 西広島駅周辺地区交通結節点整備事業繰越の具体的内容と理由は？

答 測量を実施した上で、駅前広場基本設計を行う予定であったが、JRとの協議に日時を要し、測量の完成が遅れたため、当該設計の着手が遅れ、繰越したものである。

街路事業費の翌年度繰越

問 西広島駅周辺地区交通結節点整備事業繰越の具体的内容と理由は？

答 JR所有施設の物件調査に必要な資料の提供について、JRとの調整に日時を要したことなどから、調査の着手が遅れ、繰越したものである。



JR西広島駅

平和記念式典の時間外手当の見直し

問 式典における職員の時間外手当は3千万円。事務指導員の活用は？

答 式典警備に事務指導員を活用することは困難だが、警備人数の削減も視野に入れて、時間外手当の抑制に努めたい。

性暴力被害者支援の充実強化

問 DV・ストーカー事案は最多である。性暴力などのワンストップセンターが必要では？

答 各相談窓口での確に対応ができるように、当面、県のマニュアルに基づき、支援に取り組みたい。
平成24年度の水道の漏水防止対策

問 道路上の漏水件数と宅地内漏水件数は？ また、その対策は？

答 道路上は1,744件（メーターまで含む）、宅地内は7,773件で、配水管の更新や漏水調査および検針時の漏水確認や職員による調査を行っている。

べきでは？

答 国に責任あるエネルギー政策の早期の構築と実行を強く求めている。再生可能エネルギーの普及に一層取り組み。

危機にある子どものいのち

問 子どもの虐待、暴力、いじめ等の防止にどんな施策をとったのか。

答 講演会等の広報・啓発活動や教職員等を対象にした研修、関係機関等との連携による相談・支援などを行った。

保育所の環境整備

問 保育士がいきいきと働ける労働・職場環境の整備をすべきでは？

答 今後とも、保育士の時間外勤務や年休取得の状況等について、より一層状況把握に努め、適切に対応していきたい。

東部地区連続立体交差事業

問 事業開始以来大幅に遅れている。早期完成の取り組みはどうか。

答 引き続き広島県と連携の上、見直しの方向性をできるだけ早期に取りまとめ、早期完成に向け取り組んでいきたい。

道路標識・道路照明灯等の安全管理

問 市民の安全を守るために効果的な維持管理をすべきだと考えるがどうか。

答 今回実施する道路標識等の点検結果を受け、早急に必要対策を講じるとともに点検要領を定め、効率的かつ計画的な維持管理を行う。



道路標識

臨時財政対策債は廃止すべき

問 臨時財政対策債を廃止するよう国に強く働き掛けるべきだが、どうか。

答 引き続き市議会の協力もいただきながら、指定都市市長会等と連携して、国に強く働き掛けを行っていききたい。

ながら、事務の効率化のためにどのようなどができるか研究していきたい。

教育の絆プロジェクト事業の拡大

問 モデル校で成果があった本事業を、さらに拡大実施すべきと思うが、どうか。

答 学校規模や地域の実態を踏まえ、モデル校を各学区に段階的に拡大し、最終的には全中学校区で展開する予定である。

河岸緑地の維持管理について

問 市民の利用が多い国の河川の遊歩道の管理は市も責任を持つべきでは？

答 市民がより快適に利用できるよう管理者である国に要望し、市としても何ができるか関係者と協議していく。



遊歩道

平和記念資料館の施設整備について

問 迎える平和を推進していく上で、閉館の影響を抑えるための対策を考えているか。

答 工事期間中も本館もしくは東館のいずれかを開館するとともに、空きスペースを活用して仮設展示を行い、被爆の実相を確実に伝えていきたい。

郷土資料館と江波山気象館について

問 施設の見直しの時期に来ているのではないか？

答 公共施設全体について施設のあり方を検討する「公共施設老朽化対策検討会議」での検討結果を踏まえて対応することになると考えている。

予防警察指導について

問 消防法上の不備に対し、建築部局と連携しどのようなことを行っているのか。

答 合同査察台帳の作成や連絡会の設置により情報の共有化を図るとともに、随時合同査察を実施している。

はないが、どうか。

答 ふくしま第二保育園の募集停止と閉園については現在の方針で進めるが、引き続き保護者の理解が得られるよう努める。



ふくしま第二保育園

爽志会

区役所の組織について

問 平成24年度に行った区役所の組織改正について、その効果の検証を聞きたい。

答 市民のまちづくりに関する相談の増加、窓口の一本化による利便性の向上等があったと聞いており、効果があったと考えている。

基礎学力をつける指導について

問 「10歳の壁」という言葉がある。1~4年生までの学習支援の充実に取り組みはどうか？

答 今後、授業における個に応じた指導の工夫や長時間の見直し・改善など、その充実策について検討していきたいと考えている。

旧理学部1号館について

問 旧理学部1号館と敷地を無償取得した理由について聞きたい。

答 「知の拠点」の再生に向け、公園としての可能性を有している敷地を取得することで、公園機能の充実とプロジェクトの推進を図ることとした。



広島大学旧理学部1号館

水道・病院の3つの企業会計がある。

一般会計

市が行う行政運営の基本的な経費を管理する会計。

再生可能エネルギー

太陽光、風力などの自然の力を利用したエネルギー。

東部地区連続立体交差事業

広島市東部のJR向洋駅および海田市駅周辺地区の鉄道を高架化し、交通の円滑化や市街地の一体化等を図る事業。

臨時財政対策債

国が地方交付税の不足を補うために市に発行させる市債。

ケアマネジャー

介護支援専門員。介護支援専門員。

教育の絆プロジェクト事業

正式名称は、まちぐるみ「教育の絆」プロジェクト事業。学校と家庭・地域の連携・協力による「まぢぐるみの教育」を充実・強化し、子どもの健やかな成長を図ることを目的とする。

企業立地促進補助事業

産業集積と雇用の場の創出を通じて経済の活性化を図るため、事業所の新設等に一定の補助を行う事業。

